

# 令和3年度第2回初級講習会



## 報告

令和3年度、第2回初級講習会を、11月7日（日）、10日（水）、11日（木）、12日（金）、13日（土）、18日（木）、26日（金）の7日間開催しました。今回は第1回の2倍以上の延べ237名にご参加いただきました。各先生方から内容の濃いご講義をいただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。結果、新たに26名の方が会員資格を取得し援助活動を始められることとなりました。

## 講習会の様子

井藤館長の開講挨拶



## 保育のこころ

松山市保育・幼稚園課

太田 久美子 先生 岡田 祐子 先生

子どもの年齢や成長に応じた関わり方を具体的に分かりやすくご説明いただきました。また、離乳食を与えるときの注意事項や今と昔の違いやその理由を教えてくださいました。他に松山市の子育て支援施設の紹介などもご講義いただきました。

## 子どもの遊び

松山市保育・幼稚園課

太田 久美子 先生 岡田 祐子 先生

子どもを引き込む絵本の読み聞かせのお手本を見せていただいたり、伝統的な遊びや身近にある物で簡単に作れて楽しく遊べるおもちゃ作りの実習を行いました。その後、タオル2枚で簡単に作れる防災頭巾の作成体験もしました。また、感染症予防に欠かせない嘔吐物の対処方法も学びました。

## 子どもの心の発達とその問題 I

えひめ子育てサポートラボほっこりん

主宰 玉井 利恵 先生

子どもと関わるにはまず自分自身のコンディションが良好であることが大事であることや、コミュニケーションを取るときには「共感」と「理解」したうえで見守ることの大切さも教えてくださいました。また、傾聴と‘わたし’メッセージを活用すれば気持ち通じ合うことができることも学ぶことができました。

## 子どもの心の発達とその問題Ⅱ

児童発達支援センターあゆみ学園  
児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

「関わりにくい子」は大人が、自分の経験や知識をもとに定めた範囲を超える子どもに勝手に貼ったレッテルであり、子どもたちにとっては個性や特性の違いでしかないことであること。大人たちがその事を事前に知っておけば、混乱せず適切に対応できることをご講義いただきました。また、配慮の必要な子どもとコミュニケーションを取るときにの注意事項も学びました。

## 子どもの世話

愛媛医療技術大学  
看護学科 教授 野村 美千江 先生

子どもの命を維持する機能について循環・呼吸などの機能ごとに分かりやすく説明いただきました。またコロナ時代の感染予防について動画を見ながら楽しく学びました。その他、子どもが困った反応をした時の対応の仕方についてケーススタディも交えて教えていただきました。

## 子どもの栄養と食生活

管理栄養士  
今川 弥生 先生

離乳期や成長期の子どもの食事の介助のポイントを月齢・年齢ごとに具体的に分かりやすく教えていただきました。子どもの好き嫌いの克服法や、味覚の感じ方やピロリ菌に関する豆知識などもエピソードを交えながら面白く教えていただきました。

バランスの取れた食事には調理前の食材の色を5色そろえることの大切さも学びました。

## 介護のころ

介護福祉士  
杉本 詠二 先生

認知症の方を「神様」と表現して尊敬の念をもって接することの大切さを教えていただきました。また介護の実体験で得た裏話を交えながら、実際は苦勞の多い認知症の介護を楽しく行えるようにお話いただいたので気持ちが軽くなった受講者も多かったようです。

## 安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部  
事業推進課長 平野 昇 先生

胸骨圧迫による心肺蘇生とAEDによる除細動を行う一次救命処置について、人形とAEDを用いて何度も繰り返し実習しました。いざという時の自信につながったという声が多数寄せられました。他に気道異物除去法も教わり多くの知識を学びました。

## 身体の発育と病気

石丸小児科  
院長 中野 省三 先生

子どもの発熱時や嘔吐・下痢・痙攣を起こしたときの対処法を医学の知識を交えてお話しいただきました。また、忘れがちになっているコロナウィルス以外の感染症についての注意点など教えていただき、役に立ったとうい感想を多数いただきました。

## 看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部  
事業推進課 福祉係長 鶴久森 陽子 先生

高齢者の病気についてその症状や発作時の対処方法などを脳卒中、心臓病、熱中症などの病気毎に具体的に教えていただきました。また、寝たきりや認知症を予防するための、ロコモ体操やグーパー運動も実際にやってみました。実生活にも役立つ講習となりました。

## 事業を円滑に進めるために（修了式）

まつやまファミリー・サポート・センター  
アドバイザー

ファミリー・サポート・センターの仕組みや、今後の活動がスムーズに始められるように提供会員としての心構えや援助の仕方、報酬、事務の流れについて説明しました。

その後、今後のサポート活動についてアドバイザーと個別に面談しました。

井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付して修了しました。提供会員となられた方の活発な援助活動を期待しております。



参加者

7日間11講座 延べ 237人



提供会員資格取得人数

育児・介護両方	15名
育児のみ	3名
介護のみ	8名
合計	26名

多数ご参加いただきありがとうございました

